

## 第3回『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』（CSP大賞） 部門賞「モビリティ・ソリューション賞」を受賞

「松戸市グリーンスローモビリティ（以下グリスロと呼称）地域推進事業」が、第3回（2023年度）『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』（CSP大賞）のうち部門賞となる「モビリティ・ソリューション賞」を受賞しました。

### ●第3回(2023年度)『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』（CSP大賞）概要

**主催** 一般社団法人日本自動車会議所／株式会社日刊自動車新聞社

**開催趣旨** 日本自動車会議所が、「自動車関係団体の総合団体」として、自動車業界で働く550万の人々と自動車ユーザーによるさまざまな貢献に「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの素晴らしい取り組みが世の中に広がっていく一助になればとの思いから、2021年に創設し実施しているものです。

**応募者数** 62件

**受賞名** （部門賞）「モビリティ・ソリューション賞」

**受賞理由**

- ・松戸市の取り組みは、「高齢者の社会参加による介護予防」という目的から始められており、市の福祉部門が担当しているところが非常にユニーク。
- ・また、本事業の運営は地域住民が主体となっており、地域住民が自らの困りごとや課題に向き合い、対応結果を踏まえながら、改善を図っている姿は、単に行政が旗を振って市民に協力を促すスタイルとは一線を画している。
- ・選考委員会では、こうした松戸市の取り組みが、地域のモビリティ課題の解決の一つのモデルとして広く全国に広がってほしいとの期待を込めて、今回松戸市のモビリティ・ソリューション賞の受賞を決定。

**参考** 参考として本賞に関する情報を下記に記載しています

<https://www.aba-j.or.jp/partner/>

### ●「松戸市グリスロ事業」について

**事業名称** 松戸市グリーンスローモビリティ地域推進事業

**事業主体** 松戸市

**運営主体** 地域住民（※現在の導入地域は、河原塚地域・小金原地区の2地域）

**事業内容** 松戸市では、時速20km未満で走行する電気自動車（通称：グリスロ車両）

を地域住民に貸与しており、運営、運転等全てを地域住民同士の互助で担い、運転手無償・利用者負担なしとして地域内での小規模な移動を行う、道路運送法上の登録・許可不要の「松戸モデル」としての「グリスロ事業」を実施しています。千葉大学予防医学センターの調査研究によると、グリスロ車両の導入により、利用者の外出機会や日常行動範囲が1.7～1.9倍に広がったことや、家族等と話す機会、地域活動への参加などが2.8～5.2倍に増加した等の効果があるという結果が得られており、高齢者の社会参加、外出促進による介護予防や地域コミュニティの活性化が実現できる事業として推進しています。



(松戸市のグリスロ車両)



(河原塚地域の様子)



(小金原地区の様子)

### ●表彰式について

- 1 日 時： 2024年2月9日（金）15時～16時30分
- 2 場 所： 第一ホテル東京 4階プリマヴェーラ（東京都港区新橋1-2-6）
- 3 出席者： 日本自動車会議所 内山田竹志会長  
日刊自動車新聞社 花井真紀子社長  
鎌田実選考委員長・各選考委員  
松戸市長 本郷谷 健次 他、各受賞者  
会議所役員・会員 他

### ●取材申込について

報道機関名、お名前、電話番号を明記の上、E-mail: [Award2023@aba-j.or.jp](mailto:Award2023@aba-j.or.jp) まで、メールにて、2月6日（火）までにご連絡願います。

### 【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市福祉長寿部高齢者支援課

☎047-366-7346 FAX047-366-0991

✉ [mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp)